

# 思い出の散歩道

人形を乗せた  
車を押して歩いて  
なりたくはないと思ったら  
この有様よ

ある朝 突然  
見知らぬ人がやって来て  
あたしに言うのよ  
「お菓子の店を出さないか？」

恋人は既に  
あたしの元を離れて  
友達はとうの昔に  
この世を旅立つ

確かにあるのは  
思い出とあたし  
それだけはあるの  
みんなが生きている

残されたものは  
思い出とあたし  
涙が光って  
キラキラしている

人形とお菓子の  
車を押して歩いた  
お金なんていいわ  
花のように可愛い娘達  
細やかな罪滅ぼしが  
賑やかな楽園になる

こう見えて意外と  
お菓子作りが得意よ  
近所の子供に配ったら  
又 怒られた

みんなはあたしを  
お人好しという  
みんなはあたしを  
ふしあわせという